

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

株式会社 SOTOBO ISUMI、夷隅東部漁業協同組合

取組概要

取組名 : 地域商社設立による民間力を活用した地域課題解決と水産業の課題解決の取組
実施地域 : 千葉県いすみ市（大原漁港）
アクティビティ種別 : ⑫農林水産物のブランド化や付加価値向上を図る取組
取組形態 : ☒直接的貢献 ☐間接的貢献
取組実施日・期間 : 2022 年度～

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題	いすみ市の漁業では、漁業者の減少・高齢化、燃油価格の高騰、魚価の低迷が進み、漁業者の経験に依存した鮮度管理や取引業務の効率化、地域水産物の価値の訴求が課題となっている。 そこで漁獲物の鮮度を客観的なデータで管理・可視化し、適正な評価と取引につなげることで、魚価向上、漁業所得の安定、地域水産業の持続可能性の向上を実現する。
インプット	✓ 社員の派遣：4 人／年 ✓ K 値（魚の鮮度指標）予測を活用した鮮度管理手法
アクティビティ	✓ 漁業者が水揚げした魚の保管水温の計測を行う仕組みを作り、鮮度変化の予測モデルを構築 ✓ 漁業者向け鮮度管理勉強会の実施：2 回
今後の展望	✓ 品質管理に関する計測体制の運用を継続するとともに、夷隅東部漁協が主催する土曜マーケットや漁協直営食堂「いさばや」において、水揚げ日や保管温度による品質の違いを伝える試食会や普及啓発活動を継続的に実施する。これにより、品質管理の取組に対する消費者の理解促進を図り、魚価の向上と地域水産業の振興につなげる。